

問 4 現在の懸念事項について	キーワード
1 確認申請までの仕事量が多く、時間が掛かりすぎると思う	業務量の増大
2 書類・計算が多くどんどん難しい物になり対応が大変	業務量の増大
3 工事費高騰による 対応業務の増加	業務量の増大
4 完了検査における、提出写真等の増加や 現場との整合性への負担	業務量の増大
5 基準法に明記されていない部分に対して建築主事の厳密な解釈指導による対応業務の増大と変更・コスト増	業務量の増大
6 業務量、責任リスク増大に反比例として、設計業務費の割増が見込めない。 また、 建築設計業務の担い手不足。	業務量およびリスクの増大、人材の不足
7 上記業務量や責任は増えるが、その 価値への評価(対価) は低いと感じる	業務量と報酬の不均衡
8 確認申請の業務量は、設計料算定の際に、業務量増加に対応した独立の項目として明確化してほしい。	業務量と報酬の不均衡
9 告示8号算定報酬や、業務期間・業務量増大による設計工期が 新しい働き方や法改正に対応できていない。	業務量と報酬の不均衡と新しい働き方や法改正との乖離
10 1950年に制定された基準法は、既存建物の活用にはなじまない。	法制度・規制の課題
11 省エネ適判が注文建築を対象としていないに等しい制度であること	法制度・規制の課題
12 既存建築物の取り扱い時の法規制等の知見の不足	法制度・規制の複雑化
13 法改正による解釈の難解さ が増している。確認検査機関により解釈が異なる場合もある。設計者の手間が増えるばかり。	法制度・規制の複雑化
14 改修時の法的リスク	法制度・規制の複雑化
15 施工中の設計変更時に、 省エネ基準未達など関係法令への不適合リスクの増加 が懸念される。	法制度・規制の複雑化
16 検査機構が時間がかかるため着工が遅れている	法制度・規制の複雑化
17 審査体制の不備及び審査期間の長期化	法制度・規制の複雑化
18 法、条例の改正が行われる毎に、業務増大で、益なし。建築の楽しさ、夢が無くなっている。	法制度・規制の複雑化、業務量と報酬の不均衡
19 工事監理の責任の増大	リスクの増大（工事監理）
20 施工会社の人不足、技量低下に伴う 工事監理の煩雑化	リスクの増大（工事監理）
21 構造事務所や設備設計、施工側のミスや遅延によって設計側がトラブルに巻き込まれる	リスクの増大（工事監理・意匠・構造・設備・施工間の課題）
22 設計内容だけでなく、出来上がった 建物の施工品質まで責任を負わされること。	リスクの増大（工事監理・施工品質）
23 委託者からの 情報取得と個人情報保護法 の関係（特に委託者が管理組合の場合）、	リスクの増大（サイバー・情報管理）
24 クラウドでデータをやり取りするためデータ管理やサイバーリスク について	リスクの増大（サイバー・情報管理）
25 クライアントの横暴な要求 に応えきれない場合の責任負担の増大	リスクの増大（クライアントの横暴な要求）
26 セクハラ 関連のリスク	リスクの増大（セクハラ）
27 技術職員の確保・BIMの実用	人材の不足
28 昔の徒弟制度的な働き方に戻れとは思いませんが、昨今の働き方改革で若手が育ってくれるのか心配です。	人材の不足
29 設備設計志望者の募集	人材の不足
30 業務の工期に関すること	工期・スケジュール問題
31 定期報告拡充による、保証期間以降の厳罰化	
32 下請けの仕事が大半なので、現時点では懸念事項はない	
33 時間外労働規制の緩和及び多様化（繁忙期が一定でないため）	
34 設計ミスによる補償が実行されるかどうかが一番の関心事	